

学校関係者評価報告(平成30年度)

平成30年度の学校評価委員会を開催し、「青山建築デザイン・医療事務専門学校の自己点検・自己評価」をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

学校関係者評価委員会開催日:令和元年7月27日(土) 15:45～

学校関係者評価委員:

1. 井野 雄介 医療法人社団親寿会 池永クリニック事務長
2. 井上 勝己 (株)北海道日建設計 理事 設計技術室長
3. 本間 純子 (有)アリエルプラン・インテリア設計室 取締役
4. 林 公子 診療情報管理士専攻科 保護者
5. 八鍬 昌利 (株)T&N北海道設計事務所 建築学科・建築研究科 卒業

青山建築デザイン・医療事務専門学校

齋藤校長、林副校長、高林総務部長、大野教務部長、
加藤広報部長、武川教務課長、矢野教務課長

平成30年度 自己点検・自己評価・学校関係者評価

青山建築デザイン・医療事務専門学校

(1) 教育理念・目標	自己点検・評価
<p>1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。</p> <p>本校は、学校教育法第82条の2に基づき、専修学校として、本校設置課程の工業分野では、建築の設計・製図・デザイン・CAD、商業実務分野では、医療事務・診療情報管理の専門知識・技術を習得させ、自主的精神に充ちた学生の育成を目的とする。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>教育方針・教育目標に添って、専門教育の充実・生活指導・資格取得に対する指導・就職指導を行っている。理念、目標は教職員に周知している。具体的な方法や成果については教務部会、各科会にて意見交換を行っている。</p>
<p>2)分野ごとの教育目標・経営方針は明確になっているか。</p> <p>1 工業分野 教育目標は、技術者であるとともに、常識ある社会人を育成する。産業界において即戦力となる技術者を育成する。国際性豊かな幅広い知識をもった技術者を育成する。</p> <p>経営方針(教育活動) 産業界の動向を注視し、技術の進歩に応じて指導内容を見直し、基礎基本の精選を行い、カリキュラムの改善を図る。多様化した学生の一人ひとりの個性と能力に心を配り、即対応できるよう常に教員は、指導方法を工夫、改善し即戦力として企業のニーズに即応できる自立心とマナー教育の徹底、社会から信頼される質の高い技術者を育成する。CAD、3D、CG等の技術については専門学科ごとに指導の充実を図る。建築施工管理技術検定、建築CAD試験、福祉住環境コーディネーター、インテリアコーディネーターの資格試験等の級取得を目指す。建築研究科はその実績を踏まえ、二級建築士の資格取得と専門知識、技術の取得を図る。</p> <p>2 商業実務分野(医療事務系) 教育目標は、幅広く豊かな教養を身につけ、心豊かな人間性を持った社会人を育成する。医療に携わる者としての目的意識、他人の心の痛みがわかる人、モラルやマナーなど常識豊かな社会人を育成する。</p> <p>経営方針(教育活動) 高齢化社会にともない医療、施設、医療スタッフの厳しく選別される時代に入った、今迄以上に知識、技術そして気遣い、心くばり、優しさ、いたわりの心を持った、信頼される人格を兼ね備えた質の高い医療従事者が求められている。本校が今迄に培ってきたコンピュータの専門的な技術やノウハウを最大限に生かし、患者と医療スタッフの架け橋となる医療秘書、医療事務のエキスパートを育成、又病院の経営管理から医療データの情報管理のスペシャリストを育成する。教員自身が接遇教育、コミュニケーション能力、ビジネスマナー等の指導能力をしっかりと身につけ自らの人間性を高める。情報収集を常に行い、医療システム、管理システムの高度な専門知識を兼ね備えたスペシャリストを育成する。 医療秘書技能検定、診療報酬請求事務能力検定、医事コンピュータ技能検定、医師事務作業補助認定試験(ドクターズクラーク)、診療情報管理士の資格取得を目指す。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>経営方針は校長が作成し、毎年3月の理事・評議員会で諮られ、4月の新年度連絡会にて教職員に徹底されている。知識を身につけ資格を取得し、自分が思う職場へ就職をするという教育目標を経営方針に基づき運営されている。学生の能力のばらつきが多く教員・講師に授業や生活指導の工夫をしている。</p>

【委員会の意見等】

委員： 学校が掲げている目標は達成したのか？

学校： 詳細については(3)教育活動、(4)学修成果の項目にて説明する。

委員： 専門学校は、教員の目標と学生の目標が合致しているので、指導しやすいように感じる。

(2) 学校運営	自己点検・評価
<p>1)事業計画に沿った運営方針が策定されているか。</p> <p>運営方針、事業計画内容を新年度が始まる前に作成し、評議員会に諮った上、理事会に上程し年度予算、資金計画と併せ承認を受ける。各部、各学科は、この年度事業計画を踏まえて年度計画を定め、理事長、校長の承認を受けて業務を遂行する。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>毎年理事会・評議員会の承認を受け、計画を実行している。平成30年度は、入学生数は、前年度を下回り、特に医療事務学科の募集に課題が残った。</p>
<p>2)運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか。</p> <p>学校法人の運営方針は理事会・評議員会に諮り理事長が決定する。また学校の運営方針は校長を中心とした校務運営会議で検討し、校長が決定する。その内容は教職員会議に諮り、速やかに告知している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>現在の運営組織でスムーズに機能している。教職員からの要望は各部の部長を通し、校務運営会議や起案書等で提出し決定する。議題によっては、教職員会議で再度検討し校長が決定する。</p>
<p>【委員会の意見等】 特になし</p>	

(3) 教育活動	自己点検・評価
<p>1)学科のカリキュラムの作成・見直し等が行われているか。</p> <p>1年次では基礎知識を体系的に学習できるようにカリキュラムを設定しており、2年次においては専門知識を更に充実するように組んでいる。診療情報管理士専攻科や建築研究科の3年目の学科は、目標資格が取得できるようにカリキュラムを組んでいる。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>基礎教科と応用教科の実施時期と、資格取得時期を考慮し、教科の実施時期などを各学科会で話し合い検討し、校長が決定している。医療事務学科では「教育課程編成委員会」を開催し、教科内容や編成について見直しを行っている。</p>
<p>2)成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。</p> <p>成績の評価は、定期試験の点数や実技科目の作品を中心に出席状況や作品、レポート、小テスト等平素の成績を総合的に判断して教科担当者が決定している。また、定期試験で合格点に満たない時は、中間試験では授業中にテストの解答をし、翌週に再試験。期末試験では補講を行い、その後再試験を実施している。進級・卒業は教務規定にある基準を満たすことが必要であり、年2回の成績会議で決定する。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>評価は教務規定にある基準通りの評価で判定している。平成30年度は、不合格教科が基準に満たなかった学生はいなかった。</p>

<p>3) 授業評価の実施・評価体制はあるか。</p> <p>授業評価は、前期終了前に学生による授業評価(無記名のアンケート)を実施し、その評価内容を各担当教員に知らせ、授業改善に役立っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>担当教員は授業改善に役立っている。</p>
<p>4) 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。</p> <p>各種資格取得に必要な学習を授業に組み入れてあるが、資格試験の学習が授業で行われない学科では、金曜日の午後の「自主研修」の時間に行っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>授業中に資格試験の対策を入れている。自主研修では、検定試験対策の為に講座を開設し学習の仕方や過去問を中心に講義を行っているが、さらに合格率を上げるよう工夫が必要である。30年度の診療情報管理士の合格率は100%であった。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>委員：先生に対しては、学生も評価しづらいのではないかと。講師評価ではなく授業に対する意見としてとりまとめるのはどうか。また、企業のニーズに応えるにはどのような指導をしているのか気になる。</p> <p>学校：アンケートには質問が12項目あり、4つの選択肢がある。また、教員が個人的に質問したいことがあれば、自由に記載することもでき、学生も意見があれば記入する欄もある。過去の委員会にて、「担当する教員の授業内でのアンケート記入は、学生も正直に書きづらいのではないかと」と、意見があったが、検討した結果、学生も教科と担当教員の名前が一致しない場合もあるため、授業内での実施が妥当ではないかとなった。アンケートの結果は、グラフで結果を出す、時には厳しい意見もある。講師に対する評価だけでなく授業内容への意見も記入できるように検討したい。</p> <p>委員：1年次で基礎知識、2年で専門知識、3年では目標資格取得のためのカリキュラムはとても明確でよい。</p> <p>委員：診療情報管理士の合格率が100%とあるが、受験者は何名か。</p> <p>学校：平成30年度は6名、平成29年度は13名であった。</p>	

(4) 学修成果関係	自己点検・評価
<p>1) 退学率の低減が図られているか。</p> <p>学生の性格・特性・環境などを把握するため、観察・面談を行い、必要な指導をする。担任及び教務部長は、自主・依願退学を申し出た者に対しては、本人・保護者と面談し極力留意するように努める。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成30年度の退学は、6名、退学率3.03%で前年度の14名、5.9%に比べ改善することが出来た。さらに退学者が減少するように学生に対する指導を徹底して行きたい。</p>
<p>2) 資格取得率の向上の指導について</p> <p>在学中に受験可能な資格取得について、積極的に挑戦することを進めており、そのために授業内や自主研修時での試験対策など、支援体制を整えている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成30年度の建築研究科の2級建築士の合格率は、24.0%、診療情報管理士の合格率は100%であった。その他、2級建築施工管理技術検定は11.5%、建築CAD検定は47.8%。医療事務管理士技能認定は86.6%、電子カルテ技術検定は100%、医事コンピュータ技能検定は76.9%、診療報酬請求事務能力認定は30.4%だった。結果を残せなかった試験については、対策の強化の必要がある。</p>

<p>3)就職率の向上が図られているか。</p> <p>就職活動において個人面談を中心に個々の適性を重視し適切なアドバイスを行い、企業とのミスマッチを無くし、適所に就職させるべく指導を行っている。 学校内の体制は、「就職課」を設け企業からの求人受付、求人開拓を行い、「学生に対する情報提供」「応募書類の指導」「面接の練習」等を実施している。 「面接試験」の重要性という観点から、学生個人に対し就職試験前に模擬面接の指導も行っている。授業としては「就職支援講座」を取り入れ、自己分析、履歴書の書き方、面接での準備とマナー等、就職活動に役立てるよう配慮している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成30年度の卒業生の就職率(卒業時)は、2年課程の建築系学科は92.3%、医療事務学科は100%だった。学生本人の適性等もあるが、今後も学生の就職に対する意識や意欲が高まる指導を継続したい。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校: 建築系学科の就職率92.3%は卒業時点の数字であって、その後4名の内2名から内定報告があった。残りの2名に関しては連絡がない状態である。</p> <p>委員: 離職率はどうか?また、在学中と卒業後に感じたことだが、建築系の職種が具体的によく理解していないため、在学中にどのような資格を取ればいいのか分からない。1年から進路指導して欲しい。</p> <p>学校: 離職率に関しては、卒業時に「退職した際には学校に連絡を入れるよう」伝えているが、現実には連絡は来ないことが多い。企業から報告をうけることが多いので数字で表すのは難しい。 4年前より、自主研修時に企業説明会を校内で実施している。業界の勉強会で1年生も参加自由である。また1年生向けのインターンシップの参加も実施している。</p> <p>委員: 短期間で情報を得るのは難しいため、建築士会等のイベントに参加してみると、幅広い人材の人と接することができる為、沢山の情報を得ることが出来ると思う。また、学校と企業との結びつきが出来、学校の雰囲気も知ることが出来る。</p> <p>委員: 合格率はオープンにしているのか?</p> <p>学校: 学校案内やHPに掲載している。また、高校にも報告している。</p> <p>委員: 資格を取りたがらない若い人材が多くて困っている。</p> <p>委員: 自分が学生の時は、2級建築士の合格率が100%だったので、低くなったように感じる。</p> <p>学校: 昨年度は、震災のため、受験日が2ヶ月も遅くなった。研究科は9月の受験で修了となっており、その後は内定した会社に就職する学生も多いため、ぎりぎりまでの対策が出来なかった。</p> <p>委員: インテリアコーディネータの検定は難しい。 キッチンスペシャリストなど、企業が求めている資格がある。 就職先に合わせて資格をすすめたらいのではないか。</p> <p>学校: ギリギリまで就職先が決まらないことも多く、現実には難しいことが多い。</p>	
<p>(5) 学生支援</p>	<p>自己点検・評価</p>
<p>1)学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。</p> <p>日本学生支援機構奨学金、札幌市奨学生、交通遺児育英会奨学生オリエンテーション学費サポート等の案内及び手続きを実施。また、本校独自の経済支援として入学段階で、「家族優遇」「母子(父子)世帯優遇」などを実施し、経済状態が厳しい学生のための受入れ制度を作っている。 また、学費の滞納者には連絡を取り、奨学金の紹介や学費の分割の相談を受けている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成30年度の日本学生支援機構奨学生制度を利用した学生は貸与型102名、給付型7名だった。</p>

<p>2) 保護者と適切に連携しているか。</p> <p>学校と保護者との意思の疎通を図ることを目的として、毎年7月の第2日曜日に「保護者懇談会」を開催している。学生の保護者を対象に、学校の方針・実績の報告、学生個人の日常行動・就学状況を説明し理解を深めてもらう。また日常の就学に問題のある学生は、必要に応じてクラス担任より保護者に連絡し、就学状況の改善をうながしている。1年生は前期終了・後期終了時、2年生は前期終了時に就学状況表を保護者に送り、学校での状況を知らせる。</p> <p>また、遅刻欠席の多い学生に対しては、担任から保護者に連絡し退学にならないように早期に手を打っている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成30年度の保護者懇談会は7月15日実施した。53名の学生の保護者が参加。全体会・個別面談などで就学状況等の説明をする。また、就学状況表で、学校生活の様子を知らせている。</p>
<p>3) 卒業生への支援体制はあるか。</p> <p>卒業生を対象に2級建築士受験の為の模擬試験を6月に学科・8月に製図と分けて行っている。(無料)</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成30年の建築系卒業生に申込書を配布しているが、3名の参加であった。平成29年以前の卒業生にも告知するために青山のホームページを活用したいと思う。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 来年度より授業料の減免制度が始まり、当校も対象校として申請しており、9月に公表される。</p> <p>委員： 卒業生で退職を考えている人向けの斡旋はしていないのか？</p> <p>学校： 卒業生から連絡があった場合には、斡旋している。</p> <p>委員： 卒業生向けの支援として、卒業で終了ではなく、退職者にも就職先を案内できる環境を作って欲しい。</p> <p>学校： 卒業時、全員に案内をしているが、今後も案内していきたい。</p> <p>委員： 同窓会の組織はあるのか？</p> <p>学校： 光風会という同窓会はあり数年に一度、開催している。</p> <p>委員： 卒業生との座談会などは面白いと思う。失敗談など、とても参考になると感じる。学校と組織は違うので、ディスカッションなど設けるとよい。OB会を上手く利用して欲しい。</p> <p>学校： 校内の企業説明会では卒業生が来校することもあり、卒業生がプレゼンすることもある。同窓会は今後も実施していきたい。</p> <p>委員： 学生が作った模型は保存し、就職活動にアピールすると良い。</p> <p>学生： 企業から希望される場合もあるため、現在も行っている。</p> <p>委員： 奨学金の返済状況はどうか？</p> <p>学校： 個人情報のため、誰が滞納しているかまでは把握できていないため、学校から直接本人に連絡をすることはない。(滞納率は全国平均より低い)</p> <p>委員： 奨学金の滞納は社会的問題になっている。学校側でも、借金であることをしっかりと指導したほうがよいと思う。</p> <p>学校： 奨学金を利用している学生の多くは、高校での予約採用であるが、手続きの際には改めて指導したい。</p> <p>委員： 学生の遅刻・欠席はどのように対応しているのか？</p> <p>学校： 当校は出欠席には厳しく指導している。毎朝のHRで確認し、無断の学生には電話で連絡している。</p> <p>委員： 最近の企業は、タイムカードや申請以外に、PCの電源の入れ切りで出勤を確認しており、サービス残業も確認できるようにしている。また、メンタルで病む人が多くなってきており、ストレスチェックを定期的に行い、月に1回医者が来て対応している。</p> <p>委員： 自宅通学と1人住まいとどちらが多いか？自宅は家族がいるが1人住まいは心配である。</p> <p>学校： 自宅通学の方が多いが、一人暮らしに関係なく担任が連絡している。</p>	

(6) 教育環境	自己点検・評価
<p>1)施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>教育上必要な施設・設備は整備されているが、平成30年度は1号館のボイラーが老朽化により故障が多く入れ替えを実施した。また全館の照明を省エネ対策としてLEDに取替えた。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>予算内で出来る範囲の整備を進めている。</p>
<p>2)学校内の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。</p> <p>フィンランドの歴史的建築や北欧のデザインを見学する研修を計画し、参加希望者を募集した。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>海外研修旅行は、希望者12名で、フィンランド(ヘルシンキ)で実施し、歴史や町並み、デザインを学ぶ研修となった。また、医療事務学科は2年生の5月末から3～4週間の病院実習を実施した。</p>
<p>3)防災に対する体制は整備されているか</p> <p>自衛消防隊を編成し指揮、通報、避難誘導の役割分担を行っている。また、毎年9月に全校学生に対し避難訓練を実施している。学校設備に関しては、電気設備・EVの点検を毎月、消防設備の点検を年2回、特殊建築物の点検を年1回実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>法定点検を実施して、災害に遭わないようにする。また、災害の際には、消防署等に通報すると共に避難訓練で実施しているように学生を、適切に避難場所に誘導する。平成30年度は、8月24日に実施し、避難方法や避難場所の確認を行った。また、平成31年度の一斉配信連絡網の実施に伴い平成31年1月より準備を進めている。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 毎年避難訓練は実施しているが、昨年の震災を受け、一斉配信連絡網を実施することとなった。</p> <p>委員： 帰宅困難者向けの緊急時の水や食料は備蓄しているのか？</p> <p>学校： 水は2リットルのペットボトル300本を1号館から3号館まで備蓄しており、2年に1回交換している。</p> <p>委員： 救命訓練は行っているか？</p> <p>学校： AEDを備えており、職員に関しては研修を受けている。</p> <p>委員： 避難訓練でAEDの訓練も実施しているのか？</p> <p>学校： 避難訓練では、避難所に避難することとメールの一斉配信のみとなっている。全員のAEDの訓練は難しい。夏休み前の交通安全・薬物講習会を実施しており、今後は救命講習も検討していきたい。</p> <p>委員： 会社でBCP(防災情報提供)カードを持たされており、お金をかけずに出来るため、学校でも導入してはどうか。</p> <p>委員： 研修については、札幌に住んでいるのだから、市内の重要文化財など建築様式も話せるようになると思う。</p> <p>学校： 自主研修では近郊だが、建築物の見学も実施している。</p>	

(7) 学生募集	自己点検・評価
<p>1) 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>AO入試のエントリー受け入れ時期や出願制度など北海道庁学事課や北海道専修学校連合会の規定を厳守し募集活動を行っている。</p> <p>学校案内やホームページ、SNS等を活用し本校について情報発信している。また全道各地で開催されている進学相談会や高校での出前授業(模擬授業、職業説明会、分野説明会)に参加している。体験入学は全道から無料バスにも参画し地方の生徒でも参加しやすい環境を整えている。その他、全道各地の高校訪問を行い在校生報告、体験入学案内、学校紹介、募集要項の説明などを実施した。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>出願に関して規定や募集活動全般において関係省庁の規定に則して適正に行なわれている。体験入学では地震の影響で1回開催中止となったが、その他の日程はすべて開催できた。</p>
<p>2) 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。</p> <p>各種資格取得率、就職率、就職先など各担当教員から集約されたデータを学校案内やホームページ、各配布物などで公開している。公開にあたり正確性を規する為、各担当教員と広報担当者でチェックを行ってから各媒体へ公開している。また、二級建築士合格者、診療情報管理士合格者、就職内定者において報告書を作成し、卒業した高校へ報告書を郵送している。その他、在校生近況報告書も作成し、高校訪問時に説明を行なっている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>各種資格取得率、就職率などの実績において正確に情報公開されている。在校生近況報告書は高校訪問のみでは配布しきれなかったので郵送に切り替えた高校もあった。</p>
<p>【委員会の意見等】</p> <p>学校： 30年度入学は87名と少なかったが、31度の入学は104名となっており、オープンキャンパスも、無料バスの体験を増やしている。</p> <p>委員： 相談会はどうなっているのか？</p> <p>学校： 建築は増えているが、医療は少なくなっている。</p> <p>特に、連合会を通したものが減ってきている(他校も同じである)</p> <p>医療はもっと頑張らなければならない。</p> <p>建築は、大学進学を考えている高校生をどのように専門に向かせるためにアピールするかが課題である。</p> <p>委員： 青山のブランドを守っていかなければならない。</p> <p>学校： 青山は面倒見が良い学校であることがある程度高校に浸透している。</p> <p>委員： 高校の就職率に影響されるということは感じる。卒業生との座談会も良いのではないか。</p> <p>学校： 今後の参考にしたい。</p>	
(8) 財務	自己点検・評価
<p>1) 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>5月初旬に決算書が出来た時点で監事へ報告し、会計監査を実施。決算内容をチェック後、監査報告書に署名捺印をもらい、理事会・評議員会で報告している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>5月初旬に決算書が出来た時点で監事へ報告し、会計監査を実施。決算内容をチェック後、監査報告書に署名捺印をもらい、理事会・評議員会で報告している。</p>

<p>2)財務情報公開の体制整備はできているか。</p> <p>私立学校法に基づき平成16年に公開体制を整備し、関係者から請求があった場合には、閲覧できるように用意をしている。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>財務情報公開書類を整備し、学校関係者の閲覧希望があれば公開できるよう準備をしている。また、平成26年度より前年度の資金収支計算書をインターネットのHPで公開している。また、平成31年度より過去3年の財務財務状況を公開するため準備を進めている。</p>
<p>【委員会の意見等】 学校： 110名以上入学する様に努力して行きたい。</p>	
<p>(9) 法令等の遵守</p>	<p>自己点検・評価</p>
<p>1)個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>学生情報はWindowsサーバーにて集中管理し、管理者が指定したPCのみにアクセスを許可している。また、常勤教職員には毎年「個人情報特定シート」の提出を義務付け、個人情報の管理方法等を管理している。 非常勤講師には、個人情報に関する取り扱いの注意を、年度初めの「新年度連絡会」に配布している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>個人情報に関して「プライバシーポリシー」を掲げて個人情報保護法を遵守している。</p>
<p>2)自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</p> <p>自己点検・自己評価は平成15年度から行っている。点検項目は、それぞれの関係機関による基本項目を元に精査し、本校に合った点検項目を関係部署が点検し校長が評価している。平成30年度の「学校関係者評価委員会」で外部委員より建築系学生の発表の場、卒業生名簿に関する意見があり、制作発表展の出展学生による作品のプレゼンテーションの実施、卒業生名簿の作成中止等の改善を実施している。</p>	<p>【点検評価】</p> <p>平成25年度までは独自のフォーマットで行ってきたが、平成26年度からは、このフォームで行うが点検項目は検討し、より良いものにして行く。また、「自己点検・自己評価・学校関係者評価」は、本校のHPで公開している。</p>
<p>【委員会の意見等】 委員： 学校として守らなければならない法令等はあるか。 学校： たくさんの法令があり、全ての遵守に努めている。 委員： 最近は、色々と厳しくなってきたので、流されないで守って欲しい。</p>	

<p>(10) 社会貢献・地域貢献</p>	<p>自己点検・評価</p>
------------------------------	-----------------------

1) 地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等)の受託を積極的に実施しているか。

中学生を対象とした次世代人材職業体験推進事業の職業体験講座の受け入れを積極的に行っている。30年度は道内の中学47校、298名の参加があった。公共職業訓練に関しては、3コースの受託が決まり、建築CADエキスパート科(6/1～10/31)23名・医療事務エキスパート科(8/1～12/27)30名・建築CAD科②(10/2～12/27)12名の3コースの訓練を行った。

【点検評価】

中学生の職業体験講座の受け入れは、教室や担当する教員の都合で、受け入れできない場合もあるため、今後も受け入れ方法を考えていかななくてはいけない。公共職業訓練では、各コースに設定されている資格試験合格に向けての授業を行っていて、スキルを向上させ全員が再就職できることが目標となっている。30年度は訓練終了後3ヶ月以内の就職率の課題が残った。

【委員会の意見等】

委員：最近はどここの企業でも外国人が増えてきているが、留学生は受け入れしていないのか。

学校：受け入れはしていない。

委員：桑園地区の住民との交流はあるか。

学校：近隣住民の方に迷惑をかけないように指導している。また、学校祭にきてくれるときがある。

委員：子供が中学生のときに修学旅行内の体験学習で青山にお世話になり、それが縁で入学することになった。

学校：今後も積極的に受け入れをしていきたい。